

## VE(嚥下内視鏡)検査って何がわかるの？

嚥下機能、器質性病変、誤嚥の評価、経口摂取の可能性判定、嚥下障害に対する**代償法の決定**、**嚥下機能回復訓練法の決定**、バイオフィードバック法(自覚してもらう)による**嚥下法の練習**、本人及び家族への**病状説明**に使用します

検査の流れ※詳細は摂食嚥下マニュアル参照

ST介入・予約  
(or主治医依頼)

当日  
外来or往診検査  
所要時間20分程度

嚥下障害の判定

訓練法・代償法の  
提案

### 当日の動き

検査前

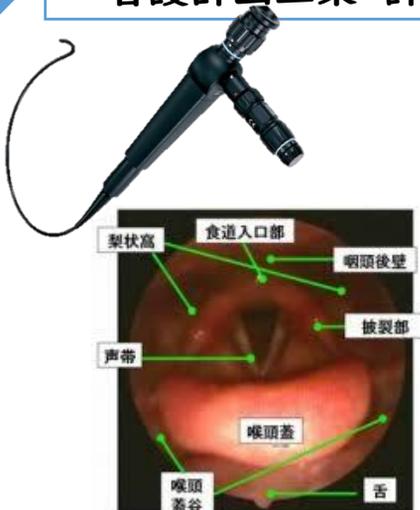
- ・ 30分前には覚醒を促し口腔ケア・吸引
- ・ 排泄を済ませ、ベッド上ならポジショニング

検査時

- ・ 検査食は、すべて**チームで持参(病棟では準備不要)**
- ・ 病棟Nsで摂取介助(抑える必要があるなら+αの人員)

検査後

- ・ 摂食嚥下支援計画書の発生→病棟Nsで説明、回収
- ・ 介入方法の実施、摂食機能療法の記録(毎日)、汎用入力
- ・ 看護計画立案・評価・チームカンファレンス・フィードバック



左のような内視鏡を使って嚥下の状態をリアルタイムで確認。

興味があるかた、お気軽に声をかけてください。

何かあれば嚥下チーム(花村PHS:8619)まで